

R8 年度専攻科入学試験（後期学力試験） 建築学専攻 出題意図

○建築計画

試験区分：R8 後期学力	教科名：建築計画	問題番号：2の1 問1
本問は、建築計画分野における基礎的知識として、近代建築史を中心に、住宅・集合住宅を含む建築の計画思想や社会的背景について、理解しているかを総合的に問うものである。		
①グラバー邸に代表される初期洋風住宅について、その建築的特徴と住宅計画上の位置付けを理解しているかを問う。		
②近代住宅思想（デ・ステイルなど）について、生活様式の変化と住宅空間の構成との関係を正しく理解しているかを問う。		
③食寝分離論に代表される近代住宅計画の考え方について、住空間の機能分化の視点から理解しているかを問う。		
④日本の気候風土に配慮した住宅計画について、通風・採光などの環境的観点から正しく判断できるかを問う。		
⑤ピロティに代表される近代建築の空間構成について、住宅計画上の意義を理解しているかを問う。		
⑥スケルトン・インフィルの概念について、集合住宅計画における可変性・更新性の観点から理解しているかを問う。		
⑦ル・コルビュジエの住宅観について、その思想が住宅計画にどのように反映されているかを理解しているかを問う。		
⑧集合住宅における都市型高層集合住宅団地の事例として、集合住宅の立地特性や規模、計画意図と建築事例との対応関係を正しく理解しているかを問う。		

試験区分：R8 後期学力	教科名：建築計画	問題番号：2の1 問2
本問は、建築計画分野における基礎的知識に加え、学校建築を対象として、建築計画と教育思想との関係について理解しているかを問うものである。		
(1) 日本建築を代表する建築家とその学校建築を対象として、建築計画と教育思想との関係について理解しているかを問う。		
(2) 自由学園明日館を題材とし、学校建築としての空間構成や形態的特徴が、教育方針および建築家の設計思想とどのように結び付いて計画されているかを説明できるかを問う。		

試験区分 ：R8 後期学力	教科名 ：建築計画	問題番号 ：2の2 問4
建築計画に関する既学習範囲内の「図書館」について、最低限必要な専門的知識かつ十分な説明能力を問う。		
(1) 図書館の平面計画を行う上で重要な利用者・スタッフ・図書／資料の動線計画についての理解と説明能力を問う。		
(2) 図書館の規模計画を行う上で重要な延床面積の算定方法（概算）の理解と説明能力を問う。		

試験区分 ：R8 後期学力	教科名 ：建築計画	問題番号 ：2の2 問5
建築計画に関する既学習範囲内の「業務施設（オフィスビル）」について、最低限必要な専門的知識かつ十分な説明能力を問う。		
(1) 近年のオフィスビルでよく取り入れられている「ワークプレイス」の考え方の理解と今後のオフィスビルの計画・設計において抑えるべきポイントを理解し、説明できる能力を有しているかを問う。		
(1) オフィスビルの計画において、最も重要とされるレントラブル比を高めるための方法論として一般的な「コアシステム」を導入する有効性の理解と説明能力を問う。		